

「地域の中にある保育園」

田丸 あけみ

2016年度が始まり、一か月が経過しました。

新入園児の子ども達も、進級した子ども達も少しずつ新しい環境に慣れ始め、毎日、賑やかな声が園舎に響いています。

最近、保育所に関するニュースがテレビから多く流れてきます。

千葉県にある保育園が開園を断念するという報道もありました。開園出来なかった理由として大きく問題になっていたのが、子どもの声と、車の通行問題でした。

このニュースを見て、我が園を振り返った時、アトムっ子達が、保育園でのびのび育つ事を保障できるのは、地域住民の方々のご理解が本当に大きいと思い、改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。とは言え、保育園だからと、当たり前のように大声で叫んだりしていると、住民の方にとっては、やはり騒音になりかねません。ニュースの様に「もう少し静かにしてほしい」と思いながら我慢して生活している方も、きっとおられると思います。

子ども達には、「お家の中には、病気の人が寝ていたり、赤ちゃんが寝ていたり、夜のお仕事から帰ってきて屋に寝ている人もいるんだよ」と伝えています。

保護者の方も特に早朝や夜間は、声を小さくする事や送迎時の安全運転、そして路上駐車も絶対にしない様、地域住民の方の立場になって配慮してほしいと願っています。

アトムの子も達は、散歩中に地域の方に笑顔で声をかけて頂いたり、園内掃除をして下さっていたり、子ども達にお絵かき用の紙を頂いたり、地域の方々に見守られながら生活しています。

また、園では、育む会主催のアトム寄席をはじめ、四地区まつりや、アトムバザーなど、地域の方々と交流する機会があり、その中で「子ども達は、地域みんなで育てる事が大切だ」と言って頂く事もあります。

これからも、職員・保護者・地域の方みんなで子ども達を見守っていく環境作りと、何か緊急な事が起こった時は、地域の方に助けていただく事もきっとあり、お互いに助け合うことが出来る地域との関係作りを大切にしていきたいと思っています。

「園舎メンテナンス」

4月29日（金）の午前中にお父さん方の力を借りて、アトム内のメンテナンスを行いました。参加して頂いたお父さん、「参加したかったけど都合がつかない」と気に掛けて頂いたお父さん方、ありがとうございました。おかげ様で、園舎の気になっていた箇所の修繕や掃除ができました。

職員有志によるメンテナンス部を今年度から立ち上げました。きっかけは、昨年度の父親懇談会で「何か力になれる事があったらするよ」と、お父さんから言って頂いた声がきっかけでした。特に力仕事は、お父さんの力を借りないと職員だけでは、出来ない作業もあります。

新園舎になり、保護者の力も借りながら、一緒に園舎を大事にしていきたいなと思っています。

第二弾もまた、行いますので是非その時は、また力を貸して下さい。